

【基本施策5】「みる」「支える」スポーツの推進

		所属名	スポーツ振興課 オリンピック・パラリンピック推進課
事業No.	事業名		
36	【重点事業】トップアスリートを招へいたスポーツイベントやスポーツ教室の開催		
事業概要	トップアスリートを招へいたスポーツイベントを実施し、スポーツへの関心やきっかけづくりとする。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	B:計画目標を達成した
令和元年度実績	①めぐろスポーツまつり ・野球教室(東京ヤクルトスワローズOB)、硬式テニス(平井健一さん)、ソフトテニス(山口大地さん) ②オリンピック・パラリンピック機運醸成事業 ・第4回目黒シティラン(ラグビー:松尾雄治さん、マラソン:君原健二さん、今井正人さん) ③指定管理者事業 ・駒場体育館 オリンピアン(競泳 末永雄太さん) ・碑文谷体育館 元日本代表(水泳 星奈津美さん) 元全日本代表(バレーボール 横山雅美さん) 元Vリーグ選手(バレーボール 高橋昌美さん) プロパフォーマー(AYAKOさん) ・八雲体育館 全日本代表(ブラインドサッカー 寺西一さん)、オリンピアン(体操競技 坂本功貴さん) ・宮前庭球場 元プロテニスプレーヤー(テニス 吉田友佳さん) ④中央体育館リニューアル記念スポーツフェスティバル(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ・バドミントン教室(オリンピアン 藤井瑞希さん、NTT東日本バドミントン部) ・式典(パトントワリング 世界待機男子シニアフリースタイル金メダリスト 駒田圭佑さん)		
評価の理由	・オリンピアン・パラリンピアンをはじめとした、各競技のトップアスリートの技術や競技に対する姿勢に触れ合うことで、スポーツへの関心やきっかけ作りに大いに寄与した。また、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成にも貢献した。		
課題など	・オリンピック競技だけではなく、パラリンピック競技を中心とした障害者スポーツ競技にも、より関心をもってもらえるよう、障害者スポーツ競技のトップアスリートに協力をしてもらい、イベント等の開催の継続が必要。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
37	スポーツ表彰		
事業概要	スポーツを通じて優秀な成績を収めた区民及び団体を表彰し、その功績を称えることにより、区民にスポーツを奨励する。また出場した大会等の情報をホームページに掲載する。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	A:計画目標を上回って達成した
令和元年度実績	・国際大会 個人4人、団体1件 ・全国大会 個人6人、団体1件 ・関東大会 個人1人、団体3件 ・東京都大会 個人14人、団体6件 計36件		
評価の理由	平成31年3月の要綱改正により、課題となっていた障害者スポーツや高齢者スポーツなどで優秀な成績を収めたものについて多く推薦があった。特に障害者スポーツについては、東京都障害者スポーツ協会に候補者の情報提供を依頼したことにより、前年度と比較して多くの障害者スポーツの成績を表彰した。また、目黒体育協会や区内私立学校等への照会のほか、めぐろスポーツニュースや・HPなどにより年間を通じて周知を行ったことにより、前年度を上回る数の推薦があった。		
課題など	表彰制度のさらなる周知・表彰対象者の情報収集方法など。		

		所属名	教育政策課
事業No.	事業名		
38	児童・生徒表彰		
事業概要	様々な活動の場において優れた活躍のあった児童・生徒を応援するため、表彰を行う。		
計画目標	継続	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	B:計画目標を達成した
令和元年度 実績	団体 ダンス部 個人 スポーツ関連46名		
評価の理由	様々な活動の場において優れた活躍のあった児童・生徒を表彰することで、他の児童・生徒を含めて今後の励みとすることができたため。		
課題など	特になし。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
39	【重点事業】障害のある人とない人がともに行うスポーツ事業の実施		
事業概要	障害のある人とない人がともに行うスポーツ活動の機会を提供する。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	B:計画目標を達成した
令和元年度 実績	<p>【駒場体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい水中運動教室(応募者0人のため中止)</li> <li>・みんなでダンス : 1日 46人</li> <li>・ふれあい広場 : 2日 25人</li> <li>・こまエコ散歩 : 2日 7人</li> <li>・こまばフェスタ : 1日 127人</li> <li>・体育の日(プール無料公開) : 1日 190人</li> <li>・体育の日(トレーニング室無料公開) : 1日 102人</li> </ul> <p>【区民センター体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいスポーツフェスティバル(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)</li> </ul> <p>【中央体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツde障がい者交流会 : 1日 153人</li> </ul> <p>【八雲体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジふれあいスポーツ教室 : 5日 32人</li> <li>・親子で楽しむ!ふれあい体操 : 6日 22人</li> <li>・めぐろふれあいフェスティバルdeスポーツ : 1日 59人</li> <li>・体育の日(トレーニング室無料公開) : 1日 183人</li> <li>・ニュースポーツ体験会 : 2日 62人</li> </ul> <p>【緑ヶ丘小学校屋内プール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい水泳教室 : 4日 60人</li> </ul>		
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設の障害者スポーツ指導員などを中心に、障害のある人とない人がふれあえるような教室やイベントを、各施設で継続して実施した。</li> <li>・障害のある人とない人が協力しあいながら、安定して事業が実施されている。また、障害のある子どもだけでなく運動が苦手な子どもも対象とした教室事業を実施し、子ども同士で触れ合う機会を設定するなど、各体育館・地区プール等で工夫をこらして事業を運営している。</li> </ul>		
課題など	・参加者が少ない教室などもあるので、より多くの人に参加してもらい、スポーツを通じて障害のある人とない人とのコミュニケーションの機会の場を提供できるよう、実施方法や周知の仕方について、継続して検討していく。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
40	トップアスリートを招へいたスポーツイベントやスポーツ教室の開催 ＜再掲 事業番号36＞		
事業概要	トップアスリートを招へいたスポーツイベントを実施し、スポーツへの関心やきっかけづくりとする。		
計画目標	拡充	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	B:計画目標を達成した
令和元年度実績	①めぐろスポーツまつり ・野球教室(東京ヤクルトスワローズOB)、硬式テニス(平井健一さん)、ソフトテニス(山口大地さん) ②オリンピック・パラリンピック機運醸成事業 ・第4回目黒シティラン(ラグビー:松尾雄治さん、マラソン:君原健二さん、今井正人さん) ③指定管理者事業 ・駒場体育館 オリンピアン(競泳 末永雄太さん) ・碑文谷体育館 元日本代表(水泳 星奈津美さん) 元全日本代表(バレーボール 横山雅美さん) 元Vリーグ選手(バレーボール 高橋昌美さん) プロパフォーマー(AYAKOさん) ・八雲体育館 全日本代表(ブラインドサッカー 寺西一さん)、オリンピアン(体操競技 坂本功貴さん) ・宮前庭球場 元プロテニスプレーヤー(テニス 吉田友佳さん) ④中央体育館リニューアル記念スポーツフェスティバル(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止) ・バドミントン教室(オリンピアン 藤井瑞希さん、NTT東日本バドミントン部) ・式典(バトントワリング 世界待機男子シニアフリースタイル金メダリスト 駒田圭佑さん)		
評価の理由	・オリンピアン・パラリンピアンをはじめとした、各競技のトップアスリートの技術や競技に対する姿勢に触れ合うことで、スポーツへの関心やきっかけ作りに大いに寄与した。また、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成にも貢献した。		
課題など	・オリンピック競技だけではなく、パラリンピック競技を中心とした障害者スポーツ競技にも、より関心をもってもらえるよう、障害者スポーツ競技のトップアスリートに協力をしてもらい、イベント等の開催の継続が必要。		

		所属名	スポーツ振興課
事業No.	事業名		
41	障がい者スポーツ指導員(初級)取得者の活用		
事業概要	障がい者スポーツ指導員養成講習会修了者を対象に、障がい者スポーツ指導者として活動ができるよう、環境を整備する。		
計画目標	新規	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	B:計画目標を達成した
令和元年度実績	令和元年度目黒区スポーツボランティア登録者数:11名		
評価の理由	・障がい者スポーツ指導員(初級)養成講習会修了者が各施設でスポーツボランティア活動ができるよう、平成28年度から「目黒区スポーツボランティア」制度を導入し、スポーツボランティア登録についての案内を行った結果、登録者が増えた。		
課題など	・スポーツボランティアについては、新たな制度ということもあり、現在登録者が少ない状況であるので、障がい者スポーツ指導員養成講習会等終了者への周知等について検討していくとともに、区及び指定管理者事業においてスポーツボランティアが有効活用されるよう、継続して検討する必要がある。		

		所属名	文化・交流課
事業No.	事業名		
42	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えたボランティアの育成		
事業概要	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据えた、目黒区の魅力発信のための研修会や講座等を開催し、ボランティアの育成を図るとともに、活躍できる環境づくりに努める。		
計画目標	新規	目標に対する評価 (令和元年度末現在)	B:計画目標を達成した
令和元年度実績	<p>①外国人と楽しむ観光まち歩き(目黒区国際交流協会) 参加人数:ガイド3名、ガイドアシスタント4名、職員2名 外国人12名(バングラデシュ3名、ブラジル1名、中国1名、コロンビア1名、フランス2名、インドネシア1名、韓国1名、マレーシア1名、フィリピン1名)、日本人6名(観光通訳2名、観光通訳実習3名、職員1名) 内容:めぐろ観光まちづくり協会と連携し、外国人訪問客とボランティアが共に楽しむ観光まち歩きを行った。</p> <p>②防災語学ボランティア 登録者数:66人 登録言語数13か国語 内容:地震などの災害が発生したときに、日本語の分からない外国人区民等を支援する防災語学ボランティア制度</p> <p>③まち歩きボランティアガイド養成講座(めぐろ観光まちづくり協会) 参加人数:24名 内容:観光ボランティアの役割等の講義、実地研修等</p> <p>④まち歩き事業(めぐろ観光まちづくり協会) 参加人数:計229名 内容:「外国人と楽しむまち歩き」(目黒区国際交流協会と共催)他、自主開催3回、団体等からの依頼6回においてボランティアガイドを活用した。</p>		
評価の理由	新たにまち歩きボランティアガイドを養成したり、まち歩き事業でボランティアガイドを活用するなど、ボランティアが活躍できる環境づくりを行ったため。		
課題など	新しい生活様式に対応した形を検討しながら、引き続きめぐろ観光まちづくり協会が展開するボランティアガイドの育成を支援していく。		